

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 新居浜市立宮西小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒792-0024
愛媛県新居浜市宮西町5番56号

E-mail mnie-ad@esnet.ed.jp

Website http://miyanishi-e.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数 男子 115名 女子 129名 合計 244名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ふるさと学習 ）

3. 活動内容

(1) テーマ (主題)

地域とつながり 未来へはばたく みやにし
(人・文化・自然)

(2) 主な活動内容について

ア ふるさとの歴史・文化に学ぶ活動

(ア) 【第3学年「わたしたちのまち『宮西』】

(ねらい)

- ・ まち探検を通して見つけた「古いもの」や「めずらしいもの」について調べたり、聞き取りをしたりすることを通して、宮西校区のよさに気付くとともに、宮西校区を大切にしようとする心を育てる。

(活動の実際)

- ・ まち探検を行い、コース周辺にある「古いもの」「めずらしいもの」を自分の目で確かめたり、一緒に歩いてくれる地域の人のお話を聞いたりした。
- ・ 自分の調べたことをクラスで交流し合い、宮西校区の昔の様子についてまとめ、発表した。



(発表の様子)

(イ) 【第5学年「防災 宮西レンジャー」】

(ねらい)

- ・ 過去の災害や地域で起こりやすい災害から、自分の課題を設定し、本やインターネット、聞き取りなどから資料を収集したり分析したりする。
- ・ 地域に起こりやすい災害や地域における過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断に生かすことができる。

(活動の実際)

- ・ 自分たちの住む地域にはどんな危険な箇所や災害時に役立つものがあるのかを探しに行った。地域に住む方と一緒に、いろいろなことを教えていただきながら『防災まちあるき』を実施した。
- ・ 『防災まちあるき』で見つけた危険な箇所や役立つものを、各地区毎に防災マップにまとめた。



(防災まちあるきの様子)

(ウ) 【郷土芸能「口屋音頭」の伝承】

(ねらい)

- ・ 別子銅山、口屋の繁栄を歌った郷土芸能「口屋音頭」の伝承を通して、ふるさと「宮西」を愛する気持ちを育てる。

(活動の実際)

- ・ 運動会において、全校児童で「口屋音頭」を踊る (運動会演技の様子) ために、宮西校区女性部の方々に指導をしていただいて練習をした。
- ・ 宮西夏まつりで口屋音頭を踊る5年生と保護者を対象に、宮西校区



女性部の方々に指導をしていただいて練習をした。

(エ)【第1学年「むかしのあそび」】

(ねらい)

- ・ 地域の人に昔からある遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、昔から伝わる遊びのよさや楽しさ、地域の人への優しさに気付くことができる。

(活動の実際)

- ・ 地域の人を招待して、昔からある遊びを教わり、一緒に遊んだ。
- ・ 楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びをしてくれた人にお礼の手紙を書いた。



(けん玉遊びの様子)

イ 人との出会いやつながりを大切にした交流活動・体験活動

(ア)【第4学年「七草粥体験活動」】

(ねらい)

- ・ 公民館関係者の方々に七草について教えてもらい、一緒に作ることで、地域との関係を深めるとともに、伝統行事・文化を次世代へ継承する。

(活動の実際)

- ・ 宮西校区まちづくり推進委員長より七草の種類や七草粥の由来について説明を受けた。
- ・ 女性部や保護者の方に七草粥の作り方を教えてもらい、一緒に作った。そして、作った七草粥を一緒に食べ、古来よりの年中行事を体験した。



(七草粥体験活動の様子)

(イ)【第6学年「三世代交流福祉もちつき大会」】

(ねらい)

- ・ もちつきを通して三世代の交流を図るとともに、伝統行事を大切にして文化を継承する心を養う。
- ・ 独居老人宅を訪問することで、高齢者へのいたわりや優しさの心を持ち、人と人との出会いやつながりを大切にする。

(活動の実際)

- ・ 親世代、祖父母世代の方々にもちつきの手ほどきをいただきながら、もちつきを体験した。
- ・ 各地域の民生委員さんと高齢者のお宅を訪問した。児童が書いた手紙を添えて、赤飯を笑顔とともに贈ることができた。



(もちつきの様子)

ウ 豊かな感性と表現力を育てる環境づくり

(ア)【地域ボランティアと保護者による読み聞かせ】

(ねらい)

- ・ 地域の方々と児童との親密な人間関係を築き、幅広く読書に親しむ態度を育てる。

(活動の実際)

- ・ 木曜日(月2回程度)の朝の時間(8:00~8:10)、公民館が中心となって募集した地域ボランティアの方々と保護者が各教室を訪れ、読み聞かせをする。



(読み聞かせの様子)

(3) 成果と課題

- 地域の方々に教えてもらったり、一緒に活動したりすることによって、児童の活意欲が高まり、学習を深めることができた。
- ふるさと「宮西」を実際に歩いていいところを知り、歴史や文化を調べる活動を通して、郷土を大切に思う気持ちが高まってきた。
- ESD活動を通して、地域の方々とふれあう機会をもつことができた。今後も地域との連携を深めることができるよう、学校から積極的にアプローチする必要がある。また、活動の内容も様々な分野をつないで総合的に取り組んでいく必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）